

おおたま学園コミュニティ・スクール便り



令和2年12月22日発行 No.26 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)

【コロナ禍でもできることを - 今年度のコミュニティ・スクール - 】

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）は、年9回の委員会を開催しています。前号にも記載しましたように、現在コロナ禍であるため、感染防止対策を十分に行いながら会議を実施して参りました。

下記のように、今年度はすでに第7回委員会まで実施しております。うち3回は、各幼稚園、小・中学校に特化した協議の場としており、オープンスクール（学校公開）の後にそれぞれの学校課題の解決に向けた話し合いを行ってきました。（委員会の会議概要については、大玉村ホームページに掲載しておりますの、そちらをご覧ください。）



第6回CS委員会（於 玉井小 11/27）より

回	実施日(期間)	会議の概要
	5月14日(木)	第1回役員会(第1回委員会の協議内容検討)
1	5月28日(木)	第1回委員会(各校・園ごとの意見交流(教育活動の方向性、現状、課題等))
2	7月7日(火)	第2回委員会(おおたま・オータム・フェスタの趣旨を取り入れた行事等について)
3	9月4日(金)	第3回委員会(大玉中学校の教育活動について)
4	10月6日(火)	第4回委員会(第2回コミュニティ広場<第12回大玉村教育フォーラム>について)
5	10月29日(木)	第5回委員会(大山小学校・大山幼稚園の教育活動について)
6	11月27日(金)	第6回委員会(玉井小学校・玉井幼稚園の教育活動について)
	11月27日(金)	第2回役員会(第7回委員会の協議内容検討)
7	12月7日(月)	第7回委員会(研修<学校関係者評価>、次年度各校・園 学校運営方針について他)
8	1月14日(木)	第8回委員会(本年度CS委員会運営について、コミュニティ広場最終確認他)
	1月20日(土)	第2回コミュニティ広場<第12回大玉村教育フォーラム>
	1月～2月	学校関係者評価(於 各幼稚園、各小・中学校)
9	2月25日(火)	第9回委員会(学校関係者評価報告、学校運営方針の承認他)

近年、CS委員会やコミュニティ広場等で取り入れている手法の一つが熟議（熟慮と議論）です。小グループに分けて話し合うことで委員一人一人が発言しやすく、自分の考えや思いを発言できます。また、他の意見や思いを聞くことができ、さらに理解を深めることもできます。最後には各グループで話し合ったことを発表し合い、全体で共通理解を図るようにしています。

そのため、地域住民と学校の先生方との親近感が生まれ、相互の信頼関係を構築する手助けとなっています。さらに地域の力と学校を結びつけられるような運営を心がけています。

□ 10月29日(木)、大山小学校のオープンスクールが行われ、CS委員も公開授業やその後の先生方の研究会の様子を参観いたしました。

第5回CS委員会では、大山幼稚園・大山小学校では、「幼、小、中と続く縦のつながりを大切にされた教育が行われている。」「先生方が授業を上手にコーディネートしながら進めていた。」「子どもの発達段階に合った指導・支援がなされていた。」等の感想が出されました。



第5回CS委員会（於 大山小 10/29）より

また、大山小学校が設定した5つのテーマに基づいて班ごとの熟議が行われ、活発な意見交換がなされました。(地域・家庭(保護者)ができること・行いたいこと等で主な意見を抜粋します。)

ア 「よりよい読書活動を身に付けさせるために」

- ・家庭でメディアにふれる時間を決めておくことが大事。乳幼児期から長時間ふれることは有害になる恐れがある。(専門家と連携を図る)
- ・読書については、「おすすめの本」を知らせる工夫をし、各家庭で取り組みやすいようにする。
- ・絵本や本をすぐ手にとれる環境づくりを進める。(ex.家庭での工夫、ふるさとホールの活用等)

イ 「メディアの上手な使い方を身に付けさせるために」

- ・家族でコミュニケーションをとったり、ふれ合ったりする時間を確保する。
- ・アウトメディアデーの活用…アウトメディアデーを村民に広く知らせる。賞を設定して表彰する。
- ・地域の体験行事を充実させ、積極的に参加できるようにする。(親子で)
- ・SNSについて親も学ぶことが大切。(ex.親子で参加する研修会を開催する)

ウ 「よりよい生活習慣や食習慣を身に付けさせるために」

- ・生活習慣の改善が必要→「早寝・早起き・朝ごはん」運動に村全体で取り組む。積極的に運動する。(スポ少の体験参加、村の運動施設の利用他)
- ・食生活の改善が必要→栄養バランスの良い食事。大玉版レシピ集を作る。

□ 11月27日(金)には、玉井小学校のオープンスクールが行われました。この日は、県北教育事務所の要請訪問も合わせて行われ、午前中に玉井幼稚園の保育参観と研究協議、午後には玉井小学校の授業参観と分科会が行われました。

第6回CS委員会では、「先生方が子どもが学びやすい保育・授業を行うために、学びの環境を工夫していた。」「子どもに投げかける発問一つ一つを吟味・工夫して取り組んでいることがよく分かる授業が実践されていた。」「子どもが意欲的に学習に取り組んでいた。」等の感想が出されていました。

また、今回は、熟議のテーマを「学校(幼稚園)・家庭・地域」が連携・協働した教育活動の展開としました。(主な意見を抜粋します。)

ア 「地域人材に活躍いただく」地域人材を取り入れた教育活動

- ・今取り組んでいる活動をさらに充実させる。(読み聞かせ、田植え踊り、村の施設の活用等)
- ・地域の人材を発掘する。村の人材バンクを充実させて、さらに活躍いただけるようにする。

イ 「地域を教材化する」地域施設や行事を活用した教育活動

- ・大玉村の歴史(名所・旧跡等)についてを総合等の時間に学ぶ。
- ・ICTの活用(ex.村の紹介等)によって、地域の教材化が進んでいく。→SNSでの発信
- ・大玉の魅力である“米”を追究する学習を仕組む。

ウ 「地域に貢献・還元する」地域貢献活動の実施

- ・「最終的に大玉村に戻ってきたい。」「大玉村で子育てをしたい。」と思えるような継続的な活動が必要。(ex.学年をつなぐ活動、子どもと高齢者とのふれあい活動等)
- ・学校が地域に出て行って活動する。(ex.馬場ザクラの保護活動他)

エ 「地域の人と共に学ぶ」地域保護者との共通の学び

- ・自然を生かす取り組み(わらを使った伝統工芸他)
- ・保護者に学校に来ていただき、共に活動する機会をつくる。(ボランティア活動他)
- ・保護者の得意なことを知り、それを生かす活動をする。(ex.絵画、運動、音楽等)

お知らせ

【令和3年2月20日(土)開催予定】

第2回コミュニティ広場 9:00~11:30 於 大玉村農村環境改善センター

第1部「ふるさと大玉村への思いを伝えよう」

大山小・玉井小・大玉中の代表の発表

第2部「ふるさと大玉村への私たちの思いを語り合おう~学校・家庭・地域のつながりを通して~」

参加者によるフリートーク

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、村民の皆様にも広く参加を呼びかけることはいたしません。また、開催にあたっては、感染状況を踏まえて判断します。